

事業シート(令和4年度決算)

事業名	21600 総合交通対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと利便性が共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・病院や買い物に気軽に出かけられるような公共交通網の充実に努めます。また、バス停などにおいては雨風・降雪などが防げる工夫を路線バス会社・道路管理者、バス停周辺住民などと連携しながら検討します	
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築			
			項	1	総務管理費		根拠計画					都市基本計画、地域公共交通網形成計画、過疎地域持続的発展計画
			目	17	総合交通対策費							
担当課	都市政策部 都市計画課	内線	2339									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 路線の充実や円滑な乗り継ぎなど、利便性の高い公共交通を確保する。 将来にわたって、持続可能な公共交通サービスを提供する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 効率的で利便性の高い地域公共交通システムの構築 地域バス(のらマイカー)、中心市街地バス(まちなみバス)、観光特化型バス(匠バス)の運行 事業者や関係団体との連携による公共交通利用促進策の展開 同盟会活動による高山本線の輸送力強化やリニア中央新幹線の建設促進
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
市民1人当たりの地域公共交通(まちなみバス、のらマイカー、たかね号)年間利用回数	1.72回	2.08回	2.50回
「日常的に利用できる公共交通体系が整っている」と感じている市民の割合	52.1%	45.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		321,724	297,246	290,681	311,681	307,728	10,482
特定財源	国費(地域公共交通確保維持改善事業 1/2)				18,000	18,000	18,000
	県費(自主運行バス運行費 1/4、1/3 等)	25,000	26,326	29,000	29,000	31,209	4,883
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)	106,000	163,630	10,100	167,100	167,100	3,470
一般財源		190,724	107,290	251,581	97,581	91,419	△ 15,871
個票枝番	主な事業内容						
	バス運行事業	258,200	257,684	265,000	265,000	263,734	6,050
	交通空白地有償運送に対する助成	12,000	11,002	12,000	12,000	11,726	724
	公共交通利用促進のための助成	15,670	2,957	5,100	5,100	5,546	2,589
◎ 1	新たな公共交通手段の導入			6,000	6,000	6,090	6,090
	地域公共交通計画策定に向けた調査						
	新型コロナウイルス対策地域公共交通事業継続に対する助成				21,000	18,650	18,650
	新型コロナウイルス対策公共交通利用促進事業に対する助成 等	31,000	21,874				△ 21,874

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算	実施計画額	279,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
313,081	310,081	310,081	19,400	
	1,500	1,500	1,500	
26,000	26,000	26,000	△ 3,000	
4,500	84,500	234,500	224,400	
282,581	198,081	48,081	△ 203,500	
査定額	説明			
275,000				
13,000				
5,100				
5,000				
9,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 自主運行バス等延べ利用者数 のらマイカー 94,117人、まちなみバス 28,733人、たかね号 2,413人 匠バス(観光特化型バス)の運行 延べ利用者数 20,550人 高山市公共交通活性化協議会の開催 4回(うち書面協議3回) 利用促進策の実施(のりものラリーの開催、匠バスPRR映像の作成、時刻表・企画切符作成ほか) 交通空白地有償運送事業を実施する地域団体に対する助成 公共交通利用促進のための助成(高齢者、若年者等に対するバスポート発行、匠バス(観光特化型バス)利用者の駐車場利用割引など) プレミアム付き公共交通利用券事業 使用数:106,272枚(販売はR2で終了、最終使用数:428,857枚 最終利用率97.2%) 新型コロナウイルス対策公共交通利用促進事業に対する助成 利用件数 貸切バス等利用支援:261件、旅行企画路線バス支援:1,426件、旅行企画貸切バス支援:21件 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 匠バス(観光特化型バス)等を活用したのりものラリーなどの利用促進策や、のらマイカーの運行見直しなどの効果もあり、のらマイカー、まちなみバス、たかね号及び匠バスの延べ利用人数が前年度比で約16,000人増加した。 緊急経済対策として実施した新型コロナウイルス対策公共交通利用促進事業により、バスやタクシーの利用促進が図られた。 引き続き、利用実態の把握・検証により、運行の見直しやデマンド運行の検討など、利便性に配慮しつつ効率性の向上を図るとともに、利用促進を図る必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> のらマイカー等について、運行エリアや路線、ダイヤを含めた運行方法の見直しや少量輸送体制の検討、新たな公共交通手段の導入などにより、効率的で利便性の高い地域公共交通システムの構築に取り組む。 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつ、公共交通事業の継続につながる取組みを実施する。 	

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 自主運行バス等延べ利用者数 のらマイカー 102,700人、まちなみバス 37,467人、たかね号 2,044人 匠バス(さるぼぼバスを含む)の運行 延べ利用者数 50,714人 高山市公共交通活性化協議会の開催 2回 利用促進策の実施(のりものラリーの開催、匠バスのデジタルサイネージの映像と車内アナウンスの変更、時刻表・企画切符作成ほか) 交通空白地有償運送事業を実施する地域団体に対する助成 公共交通利用促進のための助成(高齢者、若年者等に対するバスポート発行、匠バス(観光特化型バス)利用者の駐車場利用割引など) 新たな公共交通手段の導入(匠バス・まちなみバスへのバスロケーションシステムの導入、ヤングバスポートの電子チケット化) 新型コロナウイルス対策地域公共交通事業継続に対する助成 利用件数 10社 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 匠バス(観光特化型バス)等を活用したのりものラリーなどの利用促進策や、のらマイカーの運行見直し、全国旅行支援などの効果もあり、のらマイカー、まちなみバス、たかね号及び匠バスの延べ利用人数が前年度比で約47,000人増加した。 緊急経済対策として実施した新型コロナウイルス対策地域公共交通事業継続補助金により、バスやタクシーなどの公共交通の事業継続が図られた。 引き続き、利用実態の把握・検証により、運行の見直しやデマンド運行の検討など、利便性に配慮しつつ効率性の向上を図るとともに、利用促進を図る必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> のらマイカー等について、運行エリアや路線、ダイヤを含めた運行方法の見直しや少量輸送体制の検討、新たな公共交通手段の導入などにより、効率的で利便性の高い地域公共交通システムの構築に取り組む。 地域にとって望ましい公共交通ネットワークの姿を明らかにするマスタープランとして役割を果たす地域公共交通計画を策定する。 	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 自主運行バス事業の実施に必要な経費を計上 新たな公共交通手段の導入に必要な経費を計上 地域公共交通計画策定に向けた調査に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	21600 総合交通対策事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	都市政策部 都市計画課
枝番・内容	1 新たな公共交通手段の導入		<input type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	2	総務費		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2363
			<input type="checkbox"/>			目	17	総合交通対策費	作成年月	R5.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・利用者の利便性向上や地域の実情に応じた効率的かつ効果的な運行を図るため、新たな公共交通手段を導入する。	概要	・バスロケーション(位置情報表示)システム等の本格導入を行う。
----	--	----	---------------------------------

【参考】R3決算(Do-Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	6,000
主な経費	・実証実験等委託料	
対前年度増減額(当初予算)		6,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<p>各エリアにおいて実証実験等を実施</p> <p>1. 南高山地域(久々野・朝日・高根) 実施内容 ①スマートフォンを活用したデマンドタクシー予約 ②道の駅などの拠点化や地域交流の場と運動したおでかけ機会の創出 実施路線 デマンドタクシー(久々野・朝日)、たかね号(高根)</p> <p>2. 市街地 実施内容 ③バスロケーション(位置情報表示)システム ④匠バスデジタルサイネージの内容充実 実施路線 まちなみバス、匠バス</p> <p>3. 市全域 実施内容 ⑤デジタルチケット(ヤングバスポート、市民乗車バスの電子化) 実施路線 全路線</p>
[スケジュール]	<p>・R4.6~8 実証実験 ・R4.9~10 効果検証</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

R4決算(Do-Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	6,000
	繰越	
	補正等	
	最終	6,000
決算額		6,090
対前年度増減額(決算)		6,090

事業実績・評価等	
[事業実績]	<p>各エリアにおいて実証実験等を実施</p> <p>1. 南高山地域(久々野・朝日・高根) 実施内容 ①スマートフォンを活用したデマンドタクシー予約 ②道の駅などの拠点化や地域交流の場と運動したおでかけ機会の創出 実施路線 デマンドタクシー(久々野・朝日)、たかね号(高根)</p> <p>2. 市街地 実施内容 ③バスロケーション(位置情報表示)システム ④匠バスデジタルサイネージの内容充実 実施路線 まちなみバス、匠バス</p> <p>3. 市全域 実施内容 ⑤デジタルチケット(ヤングバスポート、市民乗車バスの電子化) 実施路線 全路線</p>
[評価等]	<p>・上記①②の結果を参考に、デマンドタクシーの新たな予約方法などを検討する。</p> <p>・上記③については令和4年9月から、⑤については令和5年2月から実証実験を実施し、令和5年4月から本格運用を開始した。また、③については令和5年度にのらマイカー東西南北線に拡大する。</p> <p>・上記④については、令和5年3月に地方創生キャラクター「温泉むすめ」を活用したバーチャルガイドと車内アナウンスの運用を開始した。</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

R5当初予算(Action) (千円)

予算額	要求額	5,000
主な経費	・新たな公共交通手段の導入委託料	
対前年度増減額(当初予算)		△ 1,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<p>令和4年度実施の実証実験等に基づく本格導入</p> <p>バスロケーション(位置情報)システムの導入 ・まちなみバス、匠バス及びのらマイカー(東西南北線)への導入 ・飛騨高山まちの博物館等へのディスプレイの設置</p> <p>その他の取り組み ・スマートフォンを活用したデマンドタクシー予約の導入(一之宮、久々野、朝日) ・デジタルチケットの導入に向けた検討</p>
[スケジュール]	<p>バスロケーションシステムの導入 ・R5.4~ 匠バス(東西線、南北線)及びまちなみバスに導入 ・R5.7~ のらマイカー(東西南北線)に導入、ディスプレイの設置</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業シート(令和4年度決算)

32_都市計画課_3

事業名	74100 都市計画推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築	
			項	4	都市計画費		都市基本計画			
			目	1	都市計画総務費		根拠計画			
担当課	都市政策部 都市計画課	内線	2363							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・都市の健全な発展と秩序ある整備を図る。	概要	・都市計画制度の活用等により土地利用の規制・誘導、都市施設の整備(計画)などを実施する。
----	----------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「保全と開発のバランスのとれた秩序ある土地利用が行われている」と感じる市民の割合	30.5%	22.0%	↗
「町並み景観や農山村景観など地域の美しい景観が保たれている」と感じる市民の割合	76.0%	78.2%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	1,567	324	58,286	58,286	54,689	54,365	
特定財源							
国費()							
県費(県移譲事務交付金、都市計画基礎調査事務費)	30	30	30	30	30	0	
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)							
一般財源	1,537	294	58,256	58,256	54,659	54,365	
個票枝番	主な事業内容						
	都市計画審議会	445	0	445	445	264	264
◎ 1	都市計画図の作成			57,000	57,000	53,833	53,833
	都市計画基礎調査						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		1,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
23,524	23,334	23,334	△ 34,952	
5,430	5,430	5,430	5,400	
		10,000	10,000	
18,094	17,904	7,904	△ 50,352	
査定額	説明			
445				
22,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・緑の基本計画の見直し ・駐車場整備計画の見直し
評価等	・社会情勢の変化等を踏まえ、緑の基本計画及び駐車場整備計画の見直しを図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・都市施設等の都市計画変更 ・都市計画基本図の作成
評価等	・道路、公園、ごみ焼却場など事業実施に向けた都市計画の変更を行った。 ・5年毎に実施する地形図の修正及び都市計画基本図を作成した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・5年毎に実施する都市計画基礎調査に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

32_都市計画課_3

74100

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	74100 都市計画推進事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	都市政策部 都市計画課
枝番・内容	1 都市計画図の作成		<input type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	7	土木費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		4	都市計画費	内線	2363	
		<input type="checkbox"/>		目		1	都市計画総務費	作成年月	R5.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・都市計画に関する基礎調査や各種事務事業の円滑な実施を図るため、地図整備を行う。	概要	・5年毎に実施する都市計画に関する基礎調査等に利用する都市計画図を整備する。
----	--	----	--

[参考] R3決算(Do-Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	要求額	57,000
主な経費	・都市計画図作成等委託料	
対前年度増減額(当初予算)		57,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do-Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	57,000
	繰越	
	補正等	
	最終	57,000
決算額		53,833
対前年度増減額(決算)		53,833

R5当初予算(Action) (千円)

予算額	要求額	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・航空写真撮影・地形図作成(S=1/2,500、1/10,000、1/25,000)
[スケジュール]	・R4.6～ 航空写真撮影・地形図作成

事業実績、評価等	
[事業実績]	・航空写真撮影・地形図作成(S=1/2,500、1/10,000、1/25,000)
[評価等]	・5年毎に実施する都市計画に関する基礎調査や都市計画決定に必要な地形図の整備を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業シート(令和4年度決算)

事業名	74500 緑地保全推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全、活用、創出	
			項	4	都市計画費		緑の基本計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	4	景観保全総務費		根拠計画			
担当課	都市政策部 都市計画課	内線	2313							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 潤いやすらぎを感じることができる緑豊かな環境の保全・創出・活用を推進し、市民誰もが緑の恵みを受けることができる環境を整備する。 緑化意識の高揚を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設緑化用苗木の配布、緑と親しむ日等におけるイベントの開催 市街地周辺の里山の取得 間伐等による適正管理 里山保全に協力する所有者の拡大と奨励金の交付 市指定保存樹等の管理に対する助成
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
緑と親しむ日等に実施したイベント参加人数	407人	743人	—

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	5,325	4,342	5,530	5,840	5,031	689	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(緑の基金収入、緑の基金繰入金)	3,306	1,644	2,508	2,508	0	△ 1,644	
一般財源	2,019	2,698	3,022	3,332	5,031	2,333	
個票枝番	主な事業内容						
	緑地保全に対する助成	2,300	2,330	2,300	2,300	2,314	△ 16
	指定保存樹等管理に対する助成	1,000	814	1,000	1,000	865	51
	市民ハイキング	100	29	300	300	164	135
	樹木の管理	45	16	500	810	657	641
	里山林の整備	500	495	500	500	391	△ 104
	里山の購入	600	0				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
5,675	5,620	5,620	90
1,584	2,498	2,498	△ 10
4,091	3,122	3,122	100
査定額	説明		
2,300			
1,000			
300			
500			
500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 松倉山ハイキングウィークの実施 10月10日～24日 407人 里山保全に協力する所有者に対して奨励金を交付 72件 市指定保存樹等の管理に対する助成 13件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 緑と親しむ日等に実施するイベントについては、前年度に引き続き期間開催とし、参加人数の増加に繋がった。より多くの市民が参加しやすい環境となるように、あらたな箇所や開催時期等について検討する必要がある。 里山保全のための所有者への奨励金交付や里山の取得について、効果を検証する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 緑と親しむ日等に実施するイベントについて、期間を設けての実施方法を継続するとともにあらたな箇所での実施を検討する。 緑地保全のための里山の取得や奨励金のあり方について検討する。 保存樹等の管理のため、引き続き助成を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 松倉山、城山ハイキングウィークの実施 6月1日～12日 743人 里山保全に協力する所有者に対して奨励金を交付 71件 市指定保存樹等の管理に対する助成 13件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 緑と親しむ日等に実施するイベントは、前年度と同様に期間開催とするとともに、松倉山に加え城山コースを新設し、参加人数の増加に繋がった。より多くの市民が参加しやすい方法や時期などイベントの拡がりへの可能性が得られる結果となった。 里山保全のための所有者への奨励金交付や里山の取得について、効果を検証するとともに、新たな保全方法についての検討が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 緑と親しむ日等に実施するイベントについて、期間を設けての実施方法を継続するとともにあらたな箇所やコースでの実施を検討する。 緑地保全のための里山の取得や奨励金のあり方について検討する。 保存樹等の管理のため、引き続き助成を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 緑の普及啓発や里山の景観を保全するための整備に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	74510 景観保全奨励事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全、活用、創出		
			項	4	都市計画費		根拠計画				景観計画、歴史的風致維持向上計画、過疎地域持続的発展計画
			目	4	景観保全総務費						
担当課	都市政策部 都市計画課	内線	2313								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<p>・市街地景観保存区域における保存活動への支援や景観形成に資する事業への助成などにより、美しい景観の保全・創出を図る。</p>	概要	<p>・景観保存活動や美しい景観形成に資する修理・修景に対する助成の実施 市街地景観保存区域保存会補助金、市街地景観保存区域建造物修景事業補助金、景観重要建造物修景事業補助金、景観形成事業(塀等設置)補助金、高山の景観にふさわしい看板補助金、生け垣等設置補助金、一般開放型便所改修補助金</p>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「町並み景観や農山村景観など地域の美しい景観が保たれている」と感じる市民の割合	76.0%	78.2%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		35,273	31,806	20,115	20,115	10,346	△ 21,460
特定財源	国費(まちなみ環境整備事業費 1/3)	8,240	4,250	5,290	5,290	2,948	△ 1,302
	県費(県移譲事務交付金)	80	0		30	30	30
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)		0				
一般財源		26,953	27,556	14,825	14,795	7,368	△ 20,188
個票枝番	主な事業内容						
	市街地景観保存会に対する助成	1,658	727	1,635	1,635	1,375	648
	景観形成、生けがき等設置に対する助成	9,870	17,637	2,270	2,270	1,012	△ 16,625
	高山の景観にふさわしい看板の設置等に対する助成	2,400	1,317	1,800	1,800	612	△ 705
	景観重要建造物の修景等に対する助成	5,700	1,147	2,000	2,000	1,130	△ 17
	市街地景観保存区域建造物の修景等に対する助成	15,000	10,686	12,000	12,000	6,094	△ 4,592

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算		実施計画額		25,500	
		要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)		
		20,487	20,351	20,351	236		
		5,230	5,230	5,230	△ 60		
		30	30	30	30		
		15,227	15,091	15,091	266		
査定額		説明					
		1,611					
		2,270					
		1,800					
		2,000					
		12,000					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市街地景観保存区域保存会補助金 8件 景観重要建造物修景事業補助金 1件 市街地景観保存区域建造物修景事業補助金 5件 高山の景観にふさわしい看板補助金 8件 景観形成事業(塀等設置)補助金 39件 生け垣等設置補助金 2件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 各種補助制度を活用した修理・修景事業等により、景観の保全や改善が図られた。 市街地景観保存区域建造物の修景工事等に係る意向調査を行い、計画的な補助金の活用を進めた。 ブロック塀撤去後の塀や生け垣等設置に対する助成について、助成の拡大を行っていることを市民に周知し、利用促進を図ることができた。(前年度より件数が増加) 市街地景観保存区域保存会補助金の制度運用について改善を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 景観重要建造物の積極的な指定及び保存・活用を推進する。 市街地景観保存区域の拡大に向けて、地域住民との合意形成に向けた協議を進める。 各種補助制度について、交付条件や対象範囲を見直し、効果を検証する。 市街地景観保存区域保存会補助金の制度運用について改善を図る。

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市街地景観保存区域保存会補助金 11件 景観重要建造物修景事業補助金 1件 市街地景観保存区域建造物修景事業補助金 4件 高山の景観にふさわしい看板補助金 4件 景観形成事業(塀等設置)補助金 4件 生け垣等設置補助金 2件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 各種補助制度を活用した修理・修景事業等により、景観の保全や改善が図られた。 市街地景観保存区域建造物の修景工事等は減少傾向となっている。 景観形成事業(塀等)や生け垣等設置に対する助成対象範囲の見直しを行ったことや、ブロック塀の助成がなくなったことにより、件数が減少した。 市街地景観保存区域保存会補助金の制度運用については今後も改善を図るとともに、保存会活動が充実するよう調整に努める。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 景観重要建造物の積極的な指定及び保存・活用を推進する。 市街地景観保存区域の拡大に向けて、地域住民との合意形成に向けた協議を進める。 各種補助制度について、交付条件や対象範囲について見直しによる効果を検証する。 市街地景観保存区域保存会補助金の制度運用について改善を図る。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 景観保全に資する事業の助成に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	74520 無電柱化整備事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3 人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	
			款	7 土木費		まちづくり戦略	(3) 地域特性の保全、活用、創出		
			項	4 都市計画費		根拠計画			景観計画、歴史的風致維持向上計画
			目	4 景観保全総務費					
担当課	都市政策部 都市計画課	内線	2313						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・無電柱化の推進により、防災性の向上、安全・円滑な交通の確保、良好な景観の創出を図る。	概要	・無電柱化整備の実施
----	---	----	------------

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
町並み景観や農山村景観など地域の美しい景観が保たれていると感じる市民の割合	76.0%	78.2%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	308,553	187,555	362,000	419,190	314,415	126,860	
特定財源							
国費(まちなみ環境整備事業1/2)	128,264	123,364	169,500	169,500	124,613	1,249	
県費							
その他(まちなみ環境整備事業負担金、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	100,000	11,109	182,000	182,000	131,489	120,380	
一般財源	80,289	53,082	10,500	67,690	58,313	5,231	
個票枝番	主な事業内容						
	無電柱化の推進	308,553	187,555	362,000	359,190	314,415	126,860

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		100,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
227,000	227,000	227,000	△ 135,000	
90,000	90,000	90,000	△ 79,500	
2,000	2,000	102,000	△ 80,000	
135,000	135,000	35,000	24,500	
査定額	説明			
227,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 上ー之町花里線 1工区電線共同溝本体・引込管工事(R2線越) 1-1工区外灯修景工事 2工区電線共同溝本体詳細設計
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 1工区の電線共同溝本体・引込管工事について、地元・電線管理者と調整し、事業を推進した。 2工区の整備に向けた電線管理者との協議を進めるとともに、電線共同溝本体詳細設計を実施し、事業推進を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 1工区については無電柱化(入線・抜柱)を実施するとともに、景観向上などを図るための道路美装化工事を地元と調整し事業を推進する。 2工区については、電線共同溝本体、引込管工事を進める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 上ー之町花里線 2工区電線共同溝引込管等設備設計委託 2-1工区電線共同溝本体工事 1-1工区電線共同溝引込管等設備工事委託 1-2工区入線抜柱完了、修景工事
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 1-2工区については、修景工事まで完了したが、1-1工区は共同溝本体並びに引込管工事についての調整が難航し入線抜柱が年度内に完成しないこととなった。 2工区の整備に向けた電線管理者の設計受託先の選定が遅れたものの、2-1工区の電線共同溝本体工事を実施し、事業推進を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 1工区全体については早期の無電柱化(入線・抜柱)完成を目指すとともに、景観向上などを図るための道路美装化工事も並行して事業を推進する。 2工区については、電線共同溝本体、引込管工事を進める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・無電柱化整備の推進に必要な経費を計上
---------------------	---------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	74600 公園管理事業費	予算	会計	1 一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3 人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 乳幼児から高校生まで、時代に合った子育て環境を提供します
			款	7 土木費		まちづくり戦略	(2) 利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
			項	4 都市計画費		緑の基本計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	5 公園管理費		根拠計画			
			担当課	都市政策部 都市計画課		内線	2313		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民や観光客が公園やまちかどスポットなどを安全・安心・快適に利用できるよう管理し、潤いややすらぎを感じることができると感じるまちづくりを推進する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園及び地区公園の改修と維持管理 まちかどスポットの維持管理 市道の街路樹の維持管理 駅前広場等の維持管理
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
住民一人当たりの都市公園面積	9.4㎡	9.4㎡	10㎡
身近に憩える公園があり、快適な住宅環境が整っている」と感じている市民の割合	36.5%	30.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R3		R4			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		179,862	176,648	138,954	141,254	139,585	△ 37,063
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(公園使用料等)	1,900	4,672	9,600	9,600	9,941	5,269
一般財源		177,962	171,976	129,354	131,654	129,644	△ 42,332
個票枝番	主な事業内容						
	指定管理施設の管理運営	27,870	27,820	27,880	28,560	27,789	△ 31
	直営管理施設の管理運営	90,392	88,755	96,774	97,936	97,038	8,283
	施設整備	7,400	5,932	14,300	14,758	14,758	8,826
	公園用地購入	54,200	54,141				△ 54,141

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算	実施計画額	151,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
200,890	192,134	191,734	52,780	
1,900	7,360	45,900	36,300	
198,990	184,774	145,834	16,480	
査定額	説明			
27,610				
105,924				
58,200	城山公園(二之丸)公衆便所改修ほか			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園36箇所及び地区公園39箇所の維持管理 まちかどスポット107箇所の維持管理 市道(49路線)の街路樹の維持管理 公園、スポーツの改修整備
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園、地区公園について、計画的な改修が図られるよう、老朽化等による修繕、改修が必要な箇所の調査を実施した。 公共施設等総合管理計画に基づき、コスト削減を図りつつ適正に管理する必要がある。 公園のトイレ施設の改修により、利用環境が向上した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 遊具、植栽等の公園施設の点検を継続的に行い、安心して快適に利用できるよう、適正に維持管理する。 公共施設等総合管理計画に基づき、公園の譲渡について協議を進める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園36箇所及び地区公園38箇所の維持管理 まちかどスポット107箇所の維持管理 市道(49路線)の街路樹の維持管理 公園、スポーツの改修整備
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園、地区公園について、計画的な改修が図られるよう、老朽化等による修繕、改修が必要な箇所の調査を実施した。 公共施設等総合管理計画に基づき、コスト削減を図りつつ適正に管理するとともに国府地区の譲渡施設について協議を開始した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 遊具、植栽等の公園施設の点検を継続的に行い、安心して快適に利用できるよう、適正に維持管理する。 利用者等のニーズを踏まえた公園施設の整備を行うとともに、公園の適正配置について検討をすすめる。 公共施設等総合管理計画に基づき、公園の譲渡について協議を進める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	安心して安全に公園を利用してもらうための維持管理に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	位山遊びの遊歩道などの管理経費を体育施設費へ移行